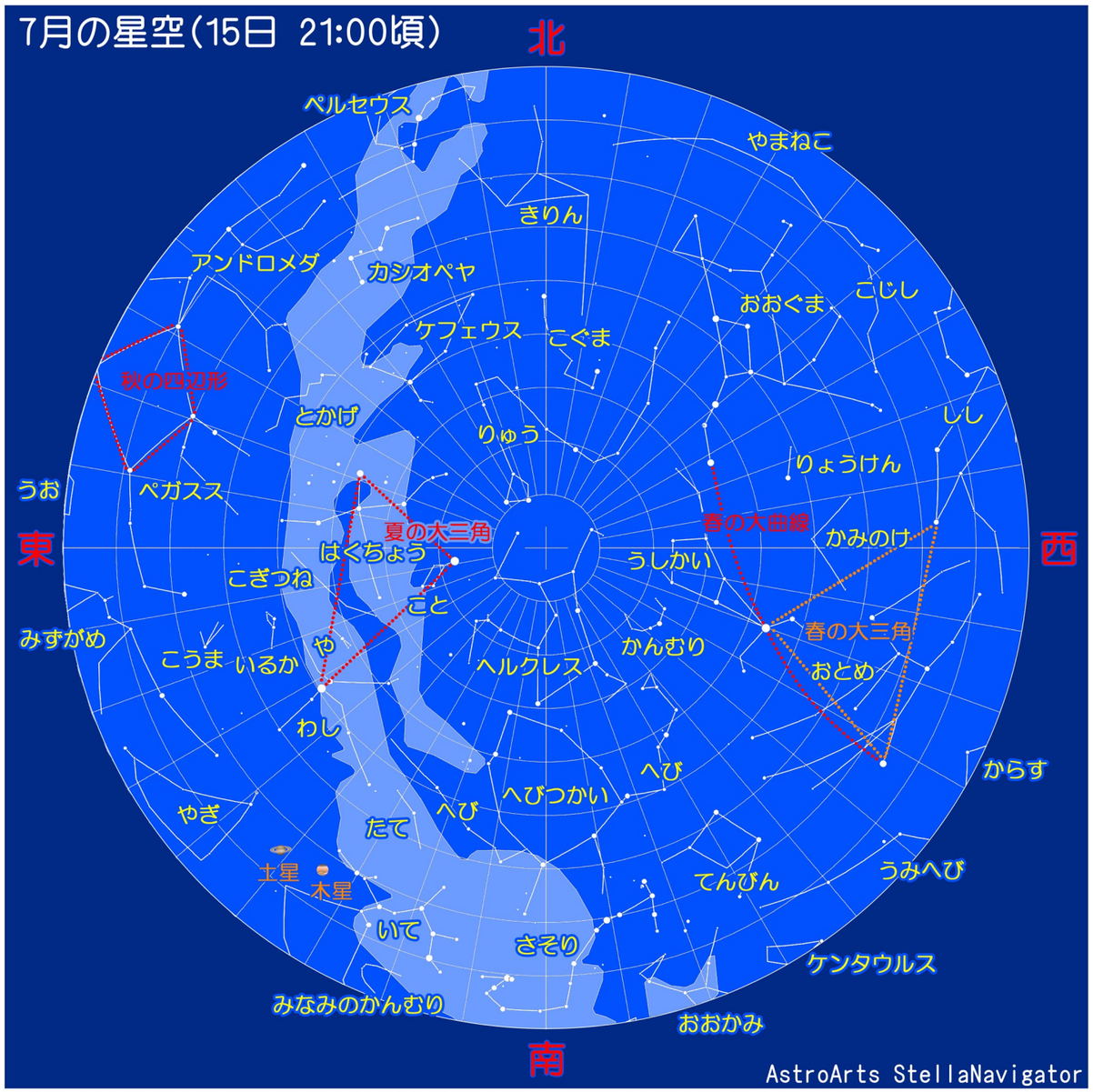
銀河の森天文台
2020年7月みどころ天体情報



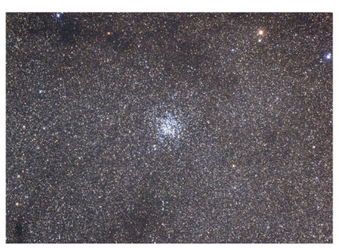
今月のイチオシ！

☆M11（散開星団）

スモールスタークラウドと呼ばれている、たて座の天の川の濃くなっている部分にある散開星団です。密集度の高い散開星団で、15cm双眼鏡では天の川の星々を背景にたくさんの星々が密集した姿を、りくり望遠鏡では視野いっぱいに星々が散らばる姿を見せてくれます。

星々の密集した様子を野鴨が群れをなして飛んでいる姿に見立て、Wild Duck Cluster（野鴨星団）という愛称が付けられています。

距離：約5610光年



M11

月

		出	没
5日	満月	19:21	03:28
13日	下弦	23:22	11:49
21日	新月	04:01	19:41
27日	上弦	11:23	22:46

天文台から月を見ることができるのは1～5日頃と23～31日頃、望遠鏡での見頃は上弦前後です。

距離：約38万km

木星

太陽系で一番大きな惑星である木星が、14日にいて座で衝をむかえ、見ごろとなっています。大赤斑と呼ばれる巨大な渦と、縞模様が特徴的です。ガリレオ衛星と呼ばれる、特に明るい衛星が４個あります。

太陽からの距離：約7億8000万km

土星

見事な環を持つことで人気の土星が、21日にいて座で衝をむかえ、見ごろとなっています。環も見やすい角度に開いています。土星の高度が上がる閉館近くの時間がオススメです。

太陽からの距離：約14億3000万km

M13（球状星団）

ヘルクレス座に位置する球状星団です。北天で最も明るい球状星団で、位置さえ知っていれば双眼鏡でも簡単に見つけることができます。望遠鏡では、中心部まで星が密集した、見事な姿を観察することができます。

距離：約2万5100光年

M57（惑星状星雲）

こと座に位置する惑星状星雲で、リング状星雲、ドーナツ星雲などと呼ばれるように環の形に見えます。

これは、恒星が一生を終えようとするときに放出したガスが光っているものです。

距離：約2600光年

M71（球状星団）

や座に位置する球状星団です。γ星とδ星の間に位置するので、比較的簡単に見つけることが出来ます。球状星団としては密集度が低いため、かつては球状星団なのか散開星団なのか意見が分かれていました。

距離：約1万3000光年

M20（散光星雲）

いて座に位置する散光星雲です。暗黒星雲によって三つに裂かれているように見えることから、Trifid Nebula（三裂星雲）と呼ばれています。写真では、赤い星雲の北側に青い星雲が隣接した美しい姿を見せてくれます。

距離：約5600光年

ちょっとマニア

• NGC6441（球状星団）

さそり座の尾の星のすぐ横にある球状星団です。天の川銀河の中で最も重い球状星団の一つで、太陽の160万倍の質量があると考えられています。

距離：約4万4000光年

その他おすすめ

- M12（球状星団）
- M22（球状星団）
- M27（惑星状星雲）
- M92（球状星団）
- NGC6543（惑星状星雲）
- アルビレオ（重星）
- ダブルダブルスター（重星）

7・8月の銀河の森天文台カレンダー

7月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

8月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24/31	25	26	27	28	29

開館時間

14:00～22:30
（4月～9月）

13:00～21:30
（10月～3月）

休館日